

# 豊かな未来を支える 誇りと育みの食づくり



県政運営の基本指針「新・宮城の将来ビジョン」に基づき、各分野で魅力的な活動を展開する県内の企業や団体などを紹介するコーナーです。今回のテーマは「地域社会づくり」。気仙沼市で水産加工業を営む株式会社齊吉商店の代表を務める齊藤吉太郎さんにお話を伺いました。



水揚げされたサンマ 仕入れの様子 札幌市でフルリモート勤務を始めた森尾さん ©気仙沼 JOB BASE

## 誰もが輝く多様な働き方

齊吉商店の持ち前の柔軟さは、働き方にも表れています。子育て世代の女性が多く働いている現状を踏まえ、県の事業を活用し、勤務制度の見直しや、働きがいにつながる人事評価制度の導入、専門家による女性社員へのヒアリングを実施。「もっと責任を持ったポジションで働いてみたい」という声に応え、この春には2人の女性社員がパートから正社員に登用されました。

齊吉商店の顧客は約7割が女性。商品開発でもその視点を重視しており、長く働いてほしいという思いがあったそうです。齊藤さんは、「元々、専務取締役だった母を中心とした先輩たちが「子どもの事情で休んでも大丈夫」という空気を作ってくれていた」と振り返り、寛容な風土が社内に根付いていたことが何よりも良かったと語ります。部門を超えて業務を支え合う体制も整い、6月からは札幌市でフルリモート勤務を始めた社員も。子どもの成長やライフステージの変化に寄り添った職場環境の整備を進め、実践を積

み重ねることで、多様な働き方のロールモデルとなり、次の世代にも良い影響が広がることを願っているそうです。「うちで仕事して良かったと思ってくれる人が、1人でも2人でもいてくれたら嬉しい」とその言葉からは、働く人を大切にしている優しさ伝わってきます。

## 食べること、作ること

齊藤さんが見据えるのは、食を取り巻く社会の未来です。食料生産の重要性が高まる中、生産者や食作りへの敬意が深まり、正しく評価されることを願っています。「楽しみつつ、大事に」。そんな思いを胸に、「食べること」と「作ること」の両方に向き合う文化をこれから育んでいきたいと考えています。今後は、近年の水産物の供給変動を踏まえ、県産米を使った「いなり寿司」など、魚以外の商品にも力を入れる方針です。

「気仙沼に齊吉商店があることで、「気仙沼っていいね」「行ってみたい」と思ってもらえることが一番嬉しい」。宮城の豊かな恵みを全国へ、そしていつか海外へも届けたい——その温かな思いは、今日もどこかの食卓に笑顔を咲かせています。

## 食べることの喜びが 尊ばれる社会へ



地元食材を使った料理などを提供する店舗「県・齊吉」

## 苦境も転機に —老舗のリスタート

齊吉商店は、廻船問屋などをルーツに持つ創業百年を超える水産加工会社です。かつてはプライダルや飲食業向けの半製品製造を請け負っていました。東日本大震災で全拠点が流失。「小さくしかリスタートできない」という厳しい状況の中、製造小売業に舵を切り、再出発を果たしました。これを支えたのは、社員が命がけで守った秘伝の「返したれ」で作る「金のさんま」、そして「自分たちで作る、直接届けたい」という震災前からの強い思いだったそうです。「コロナ禍で対面販売が難しくなり、インターネット販売への切り替えを余儀なくされた際も、「食の楽しみを届けたい」と模索を続け、自社サイトの充実と商品の多様化を進めました。現在は、百貨店などでの対面販売を



株式会社齊吉商店の代表取締役・齊藤吉太郎さん。気仙沼高校を卒業後、東京農業大学で食品に関することなどを研究。関東や北海道での勤務を経て、家業である齊吉商店へ入社し、今年2月から代表取締役に就任。会社のモットーである「おいしい食卓 豊かな暮らし」に胸に、安心・安全な商品作りに努め、関わる人々の暮らしが豊かになることを願っています。

## 手仕事のぬくもりと真心

最大の特長は、仕入れ・加工からパッケージデザイン、撮影、販売に至るまで、ほぼ全てを自社で手掛けていること。日々変わる魚種や漁獲量に応じて、朝に水揚げされた魚を即日商品化。機械での製造に頼り過ぎない手作りならではの小回りの良さとして「気仙沼にいるからこそできる」スピード感で、移ろう旬の味を商品に込めています。顧客からの声は、良い意見も厳しい意見も「改善のきっかけ」として真摯に受け止め、商品作りに生かしているそうです。そうした姿勢には、顧客との信頼を丁寧に育てる誠実さと、変化を恐れぬ覚悟がにじんでいます。



齊吉商店の看板商品「金のさんま」



気仙沼湾



「金のさんま」を調理する新入社員

冷凍齊吉いなり寿司  
だしのうまみを生かした優しい味。県の「食材王国みやぎ喜ばれる商品づくり支援事業」を活用して開発。



株式会社齊吉商店

齊吉

「金のさんま」は株式会社齊吉商店の登録商標です。

ホームページ

Instagram

